

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

12月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



千

「マガモ カモ科」

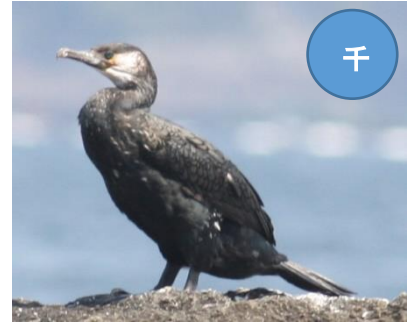
冬鳥。全長 59cm。くちばしは黄色。雄の頭部は緑色で目立つ。本種を飼育改良したものがアヒル。



千

「カルガモ カモ科」

留鳥。全長 61cm。渡りをせず 1 年中、全国の水辺で見られる。雌雄ほぼ同色。くちばしは黒く先端が黄色いのが特徴。



千

「ウミウ ウ科」

留鳥。全長 84cm。雌雄同色。海岸の岩場に生息するが、局地的に河川にも入る。鵜飼漁のウは本種。



☆「ヤブツバキ ツバキ科」☆

海岸沿いに多い常緑小高木。日本原産で園芸品種の基本種。観賞用と共に重要な油用植物でもあった。



☆「センリョウ センリョウ科」☆

暖地の林下に生える常緑小低木。実は葉の上につき、マンリョウと共にお正月の縁起物として使われる。



☆「マンリョウ サクラソウ科」☆

林下に生える常緑小低木。実は葉の下に幹を囲むようにつける。江戸時代から園芸用に栽培されている。



「スイセン ヒガンバナ科」

地中海沿岸が主な原産地の多年草。暖かい沿岸近くで野生化し群生している。良い香りがする。



「ツルソバ タデ科」

つる性の多年草。暖地の海岸近くに生える。花や実がソバ（蕎麦）に似ていることから名付けられた。



☆「アオノクマタケラン ショウガ科」☆

湿った林下に生える常緑多年草。直径 10mm ほどの実をつけている。縁起物としてお正月飾りにも使われる。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

千・千尋の浜で観察することができます。

年の瀬ですね！大掃除やお正月の準備で忙しい時期となりました。
ビジターセンターは、年末は 12 月 27 日（火）まで、年始は 1 月 5 日（木）から開館します。
来年も職員一同お待ちしております(^0^)/ どうぞ良いお年をお迎え下さい。

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2022 年 12 月後半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

冬版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒埼灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ



千尋の浜

(上地の浜)

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス



外の取



至 R42

上野展望台

防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

モチノキ

ヤマモモ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヤブツバキ

ツルコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチツツジ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

駒埼灯台

オオキンカメモシ

竹林

ツルコウジ

シロダモ

ウバコリ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

シロダモ

ホルトノキ

ヤブツバキ

アキグミ

トベラ

至休暇村

千尋の浜方面

フェリーターミナル方面

通行できません

自然観察の森

松尾展望広場

地玉(じこく)の浜

凡例

駐車場

あすまや

案内板

展望地

水道

お手洗い

自動販売機

車道

舗装路

林内の遊歩道

階段

